



2026年3月16日

日本鉄道労働組合連合会

西岡秀子衆議院議員

西九州新幹線の整備に向け、予算委員会にて質疑を展開！

3月2日に開催された衆議院予算委員会において、JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する西岡秀子衆議院議員（国民民主党・長崎1区）が、整備新幹線について質疑を展開し、西九州新幹線武雄温泉～新鳥栖間の整備推進を政府に求めた。

高市総理に対し、リーダーシップを発揮し諸課題を解決するよう要望



西岡議員

はじめに、西岡議員は高市早苗総理に対し、人口減少時代における整備新幹線の役割の重要性を訴えた。続けて、整備推進の大前提として地元自治体の理解が不可欠と指摘し、「諸課題の解決に向けて総理が強いリーダーシップを発揮すべき」と要望。高市総理は産業振興や観光立国、国土強靱化の観点からも新幹線ネットワークは重要との認識を示し、「各路線の整備に着実に取り組む」と述べた。



高市総理

現状の整備スキームに固執せず、特殊事情を鑑みた打開策を提案

あわせて西岡議員は、未整備のままとなっている西九州新幹線武雄温泉～新鳥栖間に言及し、フリーゲージトレインの導入断念という特殊事情に鑑み、「佐賀県の費用負担軽減等の打開策を国が打ち出し、佐賀駅ルートにて早急に整備すべき」と発言した。これに対し金子恭之国土交通大臣は「西九州地方と関西・中国地方がつながることで街づくりや地方創生面での効果が現れる」と述べたほか、地方負担に関する懸念については、異例の対応として国土交通事務次官と佐賀県知事との意見交換を行っている旨を説明し、引き続き西九州新幹線の整備推進を図る意思を示した。



金子大臣

JR連合は新幹線ネットワークの構築・計画推進に向けて、引き続き議員と連携して課題解決に取り組んでいく。